

平成30年11月19日

野々市市議会議長 様

(報告者)

 会派名〔又は〕 フォーラム・エヌ  
 代表者〔議員名〕 馬場 弘勝


## 政務活動報告書

下記のとおり政務活動(調査研究、研修、要望・陳情)を実施したので、報告します。

期 間	平成30年11月13日から 平成30年11月15日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	文部科学省内スポーツ庁(東京都千代田区霞が関3-2-2) カシマスタジアム(茨城県鹿嶋市神向寺後山26-2) 東京都中央区役所(東京都中央区築地1-1-1) 東京都荒川区役所(東京都荒川区荒川2-2-3) 一般社団法人フラットデザイン(東京都武蔵野市吉祥寺本町2-22-3)
参加者氏名	馬場弘勝
目 的 (調査・視察事項)	(文部科学省内スポーツ庁) これからのスポーツ行政について (カシマスタジアム) スタジアム概要と施設運営について (東京都中央区役所) 保育園等複合施設の概要と運営について (東京都荒川区役所) 区民総幸福度の向上に関する取り組みについて (一般社団法人フラットデザイン) シェアキッチンについて
調査・視察概要	<p>スポーツ庁では、先進事例をもとにスポーツの地域への社会的効果と経済効果について学んだ。効果の実現には、事前の運営・管理計画の検討が重要であり、ステークホルダー分析と市場環境分析を綿密に実施した上で、基本構想→事業収支計画→事業スキーム→事業方式決定というプロセスの具体的な内容を調査した。本市の中央公園拡張計画に伴うスポーツゾーンの形成に向けて、より具体的な計画推進への参考とする。</p> <p>カシマスタジアムの運営では、収益構造について様々な工夫や試行の数々について説明を受けた。特に地域住民との関係性、如何にして共に創り上げていくかという事を徹底的に追求していくことが、年間を通じた利用法につながると確信した。通常ではない使われ方、イベントへの仕掛け、アイデアが必要であり、進化し続けるスポーツ施設運営こそが持続性を勝ち取る原動力になることを学んだ。</p>

	<p>保育園等複合施設の調査では、中央区における PPP・PFI の導入可能性調査について詳細な説明を受けた。急激な人口増が見込まれる場合における問題点は、本市とも共通する部分があり非常に参考になった。官民連携をすべて一様に評価していくことへの様々な視点について、いま一度考えていかななくてはならないと感じたが、VFM を含めて時間軸をしっかりと捉えた上での施設の建設手法を今後も研究していかなくてはならない。</p> <p>荒川区の区民総幸福度の向上についての取り組みは、まちづくりの根底としてそのシステムを含めて非常に参考になった。公益財団法人である自治総合研究所の役割は、区の執行部に対する政策提言の関係性において非常に有効に働いている。特に職員の出向による政策形成能力の向上、人材育成という面では、非常によく考えられたシステムとなっており、今の時代に求められる人材と政策展開への可能性を拡げることが期待される。幸福度の指標、評価方法、アンケートの実施内容についても新たな観点を得ることができた。どのように市民の意をくみ取っていくかという事の参考としていく。</p> <p>シェアキッチンの視察では、実際の現場の状況、起業の実現可能性について調査した。起業のハードルをどのように超えていくか、どのようにサポートしていくか、先進事例として非常に参考になった。本市においても起業という課題に関して、本気で具体的に取り組んでいく必要があり、これから始まる地域交流拠点施設の運営内容、活動方向のひとつのあり方として、この調査をもとに提言していく。さらに今後も、起業サポートの成功例を調査研究していくべきだと強く感じた。</p>
備 考	